2019 年 10 月 29 日

日鉄ソリューションズ㈱

2020 年 3 月期第 2 四半期　決算説明会　主要Ｑ＆Ａ

Ｑ：第２四半期の受注について

Ａ：第２四半期の受注高は、対前年同期＋１６億円の８３９億円となり順調に進捗いたしました。産業・流通・サービスは前年同期と同水準、金融は－１０億円。公共公益他は前年同期に比べ期中案件が減少しましたが、大型プロダクト販売の受注が１１０億円（前年同期６０億円）あり＋１０億円となりました。ＩＴインフラは－５億円、鉄鋼は＋２０億円でした。

Ｑ：下期の売上高および営業利益の見通しについて

Ａ：下期の売上高は、対前年同期＋３１億円の１，４３７億円といたします。活況なＩＴ投資をとらえ、産業・流通・サービス、ＩＴインフラを中心にのばしてまいります。公共公益他は、大型プロダクト販売６０億円（前年同期３０億円）があるものの前年同期の期中案件の積み上がりを今下期は織り込んでおりません。

営業利益については、売上高総利益率を２０．０％（大型プロダクト販売除く２０．７％）とし、前年同期の１９．７％（赤字・大型プロダクト販売除く２０．６％）に対しほぼ同水準といたします。案件の高度化により難易度が上がっている中、下期も引き続き収益性の改善に取り組んでまいります。販管費につきましては、営業力強化を中心に前回公表値に対し＋６億円増といたします。結果、営業利益は１４４億円を計画いたします。

Ｑ：日本製鉄向けの見通しについて

Ａ：上期の日本製鉄向けの売上高は、商号変更対応の影響もあり２７３億円（対前年同期＋２７億円）と順調に進捗いたしました。下期についても日本製鉄の高度ＩＴ活用のニーズに着実に応え高い活動水準が続き、通期では売上高５３０億円を見込んでおります。

以　上